

7月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

灌水

スプリンクラーとホースを運んで設置し、灌水を行った。一度に散水できる範囲が限られているため、1日おきに移動させながら作業を進めた。重さがあるので運搬や設置は大変であったが、7月は雨が少なく乾燥気味だったため、生育を保つ上で必要な作業であった。



梨の収穫

今年初めての収穫を行った。「早水」という茨城県のオリジナル品種を収穫した。「早水」は、「幸水」より早く収穫期を迎える赤ナシで、早生品種としては大玉でシャリ感があり糖度も高いのが特徴である。収穫は収穫用のハサミを使い、枝や葉に果実が擦れないよう注意してコンテナに入れていった。



活動を行った感想など

スプリンクラーについては、移動させる際に効率的な運び方を事前に考えてから作業に入ると、負担を軽減できると感じた。

収穫に関しては、果実の色づきの見極めが重要であり、収穫するものと残すものを判断する力をさらに身につける必要があると思った。

今後の目標など

今後は本格的な収穫や販売が始まるため、まずは体調を整えて臨みたい。また、作業を進める中で「自分が独立した立場だったらどう取り組むか」を意識しながら、一つひとつの経験を積み重ねていきたい。

